

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)											
バンドヴォーカル4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山路、平山			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
自身の好きな楽曲だけではなくヴォーカリストとして知っておくべき又は学ぶべき楽曲やpops、R&B、JAZZ等様々なジャンルの楽曲でリズムの取り方の違いや歌い方の違いを学び、自分の歌をブラッシュアップしていくための感性を身につける。バンドとのアンサンブルを経験することにより、バンドと歌とで一つの楽曲を演奏する難しさと楽しさを学び、より良い音楽を提供していくための方法を自身で導き出せるようになる。											
到達目標											
①様々な楽曲のカバーをする事でテクニックを学び自身のスタイルの確立を到達目標とする。②ソルフェージュの授業を生かし譜面を実際に読み、さらに歌い回しを覚えることにより、譜面の読み方、書き方を身につける③カラオケでは意識しにくいコード感を養う④バンドとのアンサンブルを経験し、バンド内でのVo. パートとしての高い意識を持ってバンドサウンドを作れるようになる。											
授業方法											
楽譜を配り楽曲を覚え、楽曲を聴き、歌いながら、譜面の読み方を覚えられるように指導する。ヴォーカルがどのような歌い方をしているか等、楽曲を覚えるだけでなくアーティストの特徴やフェイク、ニュアンス等に着眼し盗み歌わせる事により引き出しを徐々に増やし個性を伸ばす指導をする。一曲を2回使い、1回目で曲の理解させ、課題として持ち帰らせ歌を自分のものにしていく。											
成績評価方法											
試験20%、実技50%、平常点30%											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	ベースラインを聴きながら歌うことができる。										
第2回	バンドセッションを行いよりベースエオ聴きながら歌うことができる。										
第3回	歌専攻でリズムが出せる。ロックテイストのアニメソングを歌うことができる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)

バンドヴォーカル4

第4回	歌専攻でリズムが出せる。ロックテイストのアニメソングを歌うことができる。
第5回	6/8のリズムを習得する。
第6回	6/9のリズムを習得する。
第7回	6/8のリズムを学ぶ。難易度高いため歌詞とリズムで話せるようにすることができる。
第8回	6/8のリズムを学ぶ。メロディーを覚えて歌うことができる。
第9回	バンドスタイルのヴォーカルを完成させる①
第10回	バンドスタイルのヴォーカルを完成させる②
第11回	音楽配信を想定したパフォーマンスができる①
第12回	音楽配信を想定したパフォーマンスができる②
第13回	音楽配信を想定したパフォーマンスができる③
第14回	バンドスタイルのヴォーカルを完成させ、音楽配信を想定して発表できる①
第15回	バンドスタイルのヴォーカルを完成させ、音楽配信を想定して発表できる②